

訂正箇所	誤	正
26ページ / 図表2 - 4	C社の付加価値 ($s_2 - \underline{s}_2$)	C社の付加価値 ($s_2 - \underline{0}$)
42ページ / 図表2 - 9	$D_1 = a + b\bar{Y} + \bar{I} + G_1$ $D_0 = a + b\bar{Y} + \bar{I} + G_0$	$D_1 = a + b(Y - T) + \bar{I} + G_1$ $D_0 = a + b(Y - T) + \bar{I} + G_0$
46ページ / 下から2行目	これに新たな消費関数 ($2 - \underline{0}$) と -	これに新たな消費関数 ($2 - \underline{5}$) と -
47ページ / 13行目	$Y = \sim (60 - 0.8 \times 20 + 30 - 4r + \underline{20})$	$Y = \sim (60 - 0.8 \times 20 + 30 - 4r + \underline{30})$
47ページ / 14行目	$Y = \underline{470} - 20r$	$Y = \underline{520} - 20r$
58ページ / 16行目	のような支払手段としての働きをもっている <u>ゆ</u> から、 -	のような支払手段としての働きをもっている <u>こ</u> から、 -
71ページ / 図表3 - 7	右向き矢印	上向き矢印
71ページ / 図表3 - 8	所得の増加に伴う貨幣需要の減少と利子率下落 左向き矢印	所得の減少に伴う貨幣需要の減少と利子率下落 下向き矢印
80ページ / 5行目	IS曲線を左に移動させることを -	IS曲線を右に移動させることを -
81ページ / 1行目	財市場だけの分析では -	財市場だけの分析では -
88ページ / 2行目	次にAS曲線です。AD曲線は、 -	次にAS曲線です。AS曲線は、 -
95ページ / 5行目	LM曲線が右にシフトしますので、 -	LM曲線が <u>下</u> にシフトしますので、 -
103ページ / 図表6 - 2	$L_1 \quad \Delta Y_{\underline{1}} \quad L_2 \quad \Delta Y_{\underline{1}}$	$L_1 \quad \Delta Y_{\underline{1}} \quad L_2 \quad \Delta Y_{\underline{2}}$
109ページ / 下から2行目	実質賃金が $(W/P)_{\underline{0}}$ の -	実質賃金が $(W/P)_{\underline{0}}$ の -
109ページ / 最終行	実質賃金が $(W/P)_{\underline{0}}$ から $(W/P)_{\underline{*}}$ に -	実質賃金が $(W/P)_{\underline{0}}$ から $(W/P)_{\underline{*}}$ に -
117ページ / 3行目	均衡条件は $S = D$ ですから、 -	均衡条件は $S_{\underline{1}} = D$ ですから、 -
118ページ / 下から2行目	$Y = a + b(Y - T) + I + G(\bar{X} - mY)$	$Y = a + b(Y - T) + I + G_{\pm}(\bar{X} - mY)$
119ページ / 下から3行目	$Y = \frac{1}{1 - b + \gamma} \Delta X$	$Y = \frac{1}{1 - b + m} \Delta X$
120ページ / 13行目	$\frac{1}{1 - b} > \frac{1}{1 - b + \gamma}$	$\frac{1}{1 - b} > \frac{1}{1 - b + m}$
127ページ / 13行目	たとえば、1ドル = <u>208</u> 円という -	たとえば、1ドル = <u>280</u> 円という -
134ページ / 最終行	この話は、株式投資でも債権投資でも、 -	この話は、株式投資でも債券投資でも、 -
151ページ / 図表9 - 6	$A = (\quad -n)$	$A = (\quad \pm n)$